渋滞対策

神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会の取組みについて

神奈川県内では、地域の主要渋滞箇所が約370箇所あり、円滑な移動の妨げとなっています。

移動性向上委員会では、阻害要因となっている事象を様々なデータや指標で明示するとともに、道路利用者の実感・意見などを踏まえ、要対策箇所を選定・公表し、対策を立案して重点的に阻害要因の改善を図っています。

神奈川県　地域の主要渋滞箇所（一般道）

凡 例

＜主要渋滞箇所＞
- 箇所
- 箇所（踏切）
- 区間
- エリア

＜主要渋滞箇所に隣接する主な施設＞
- 駅
- 大型店舗

＜主要施設＞
- 県庁
- 市役所・町村役場
- 港湾
- JR
- 私鉄

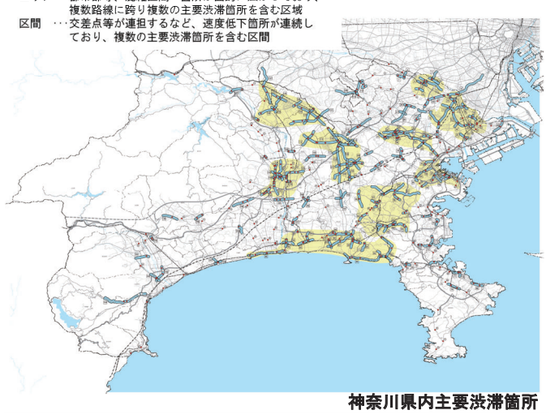
＜道路種別＞
- 高速道路
- 一般県道以上
- 市町村道

主要渋滞箇所
３７３箇所

集約されるエリア数	集約される区間数	箇所数
９エリア	５１区間	８３箇所
※２０７箇所が含まれる	※８３箇所が含まれる	

エリア・・・都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域

区間　・・・交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間



神奈川県内主要渋滞箇所

[渋滞対策の流れ]

モニタリング等による検証

移動性向上委員会における議論
- ・最新交通データによる渋滞状況検証
- ・交通状況に対する専門的見地からの検証

↓

地域の主要渋滞箇所の特定・見直し ← 利用者団体と連携（トラックやバス、タクシー、ハイヤー、観光協会等）

↓

ソフト・ハードを含めた対策の検討・実施
- ・地域の課題を共有することで道路管理者と道路利用者間での議論を促進
- ・円滑な渋滞対策の立案・実施を実現

コラム：道路交通アセスメント制度

○**商業施設等の立地による渋滞が全国の主要渋滞箇所の約１割を占め**、渋滞対策をより一層強化することが必要な状況です。

○そこで、渋滞の原因者である大規模施設の立地者による対策を推進すべく、**「道路交通アセスメント」の実施を求める運用を令和2年1月より開始**しています。

○具体的には、立地に先立って周辺交通に与える影響を予測し、適切に対策を行うことで既存の交通に支障を与えることなく施設を立地させるとともに、立地後に交通状況が悪化した場合には追加対策を検討します。

［道路交通アセスメントの運用］

＜商業施設周辺の渋滞の様子＞

立地計画立案 → 交通影響予測 → 事前対策 → 立地 → モニタリング

＜道路交通アセスメントの流れ＞

渋滞対策（国道１号 戸塚警察署交差点）

国道１号　戸塚警察署交差点は、国道１号と横浜市道との交差点であり、横浜市道から東京方面への流入交通が多く、上り・下り方向ともに、交通が集中し、速度低下が発生している状況です。

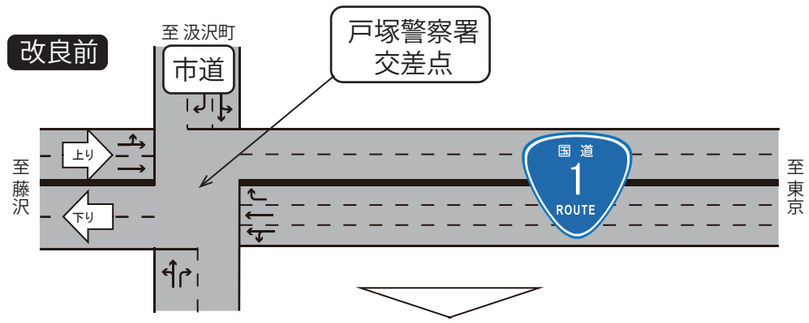
渋滞対策として、国道１号の下に横浜市道を通し、東京方面と横浜市道を接続する、戸塚警察署交差点の立体化を進めていきます。

位置図

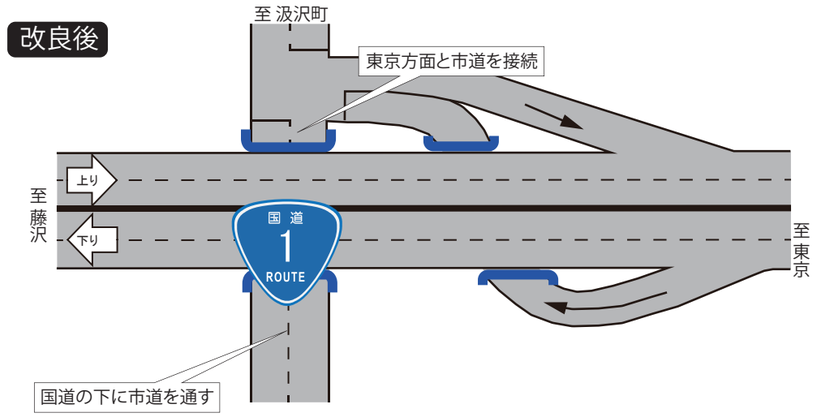
出典:国土地理院地図

対策概要

改良前



改良後



効果①渋滞解消

効果②国道横断の回避

効果③歩行空間の確保（歩道拡幅）